

事務事業名 地域子ども会活動費補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：609

施策：	03	子ども・若者の健全育成	財務コード	01090603-08-548
基本事業：	01	子ども・若者の学習機会・体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	家庭・地域での子どものための活動が充分だと思ふ市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
地域子ども会（単位子ども会）		子ども会活動を行っている地域子ども会に対し、補助金の交付を行う。 【活動内容】 夏まつりや敬老会等での地域交流会、ラジオ体操、レクリエーション活動、もちつきなど様々な活動の企画・運営を実施している。			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【手続きの流れ】 申請希望調査 説明会 申請 書類審査 子ども会員数集計 補助金額算定 補助金交付決定 交付 実績報告			
地域子ども会を支援することで、子ども会活動が活性化し、子どもの学習機会や体験活動が充実しています。		【補助金額】 基本額：10,000円 + 人員割額（580円）×会員数			

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
子ども会員数	人	3,418	3,237	3,300	3,300			3,500
活動回数	回	611	836	800	850			850

5. コスト								
事業費	計	千円	2,369	2,377	2,400	2,400		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	2,369	2,377	2,400	2,400			
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2			
正職員人件費		千円	1,563	1,605	1,676			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,932	3,982	4,076	2,400		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	（状況）子ども会会員数は181人減少、活動回数は225回増加している。							
どちらかといえばあがっている	（原因）子ども会員数：加入が任意になった子ども会が多くなっていることが、子ども会員数の減少につながっていると考える。また、子ども会に加入する人数の減少により、活動ができず休会する子ども会が増えていることも、子ども会員数の減少につながっていると考え。							
あがっていない（停滞・低下）	活動回数：新型コロナウイルス感染症の5類移行により、子ども会の活動回数は徐々に回復し、コロナ禍以前の活動水準に戻っている。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	・少子化が進み、共働き世帯が増えて担い手が減少していることや価値観の多様化等により子ども会員数は減少傾向にある。また、地域によっては個人情報の取得が困難になりつつあることも、会員数の減少に影響している。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
引き続き補助金を活用して更なる子ども会活動が進むよう、補助金制度の周知と子ども会活動の啓発を進めていく。								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
地域社会を基礎として展開される、子ども達自身の自発的、自主的な団体である「地域子ども会」を支援する事業。少子化や共働きの増加による担い手の減少や、価値観の多様化等により、活動が縮小したりする事例が生じている。				本補助金の交付申請を希望する地域子ども会育成会の担当者を対象として、毎年、補助金交付の説明会を行い、子ども会の意義や本補助金の趣旨等を説明するとともに、レクリエーション手法の指導等も行っている。				